

三種町2050年カーボンニュートラル宣言

私たちは、広大な自然環境から多くの恵みを受けて生活していますが、近年は、地球温暖化が原因と考えられる気候変動により自然災害が頻発し、生態系や人々の生活に甚大な被害を受けています。

地球温暖化は世界共通の課題であり、2015年にはパリ協定で世界の平均気温の上昇を抑える目標が掲げられ、日本では、2020年10月に菅首相が「2050カーボンニュートラル」を宣言、2022年4月には秋田県知事が「秋田県2050年カーボンニュートラル」を宣言しました。

我が町では、豊かな森林資源や再生可能エネルギー施設、本町沖に予定されている洋上風力発電などにより、日本全体の温室効果ガス削減に貢献していますが、これからは、「身近な資源を活用したエネルギーの地産地消」、「農地の保全と森林資源の再生」、「再生可能エネルギーの活用による地域経済の循環」等、我が町に合った脱炭素の取り組みにより、先人から受け継がれてきた緑豊かな大地、美しい海や田園風景を次の世代へ継承する責任があります。

三種町は、次世代を担う子どもたちが住み続けられる町であり続けるため、議会、住民、事業者、関係団体等と行政が一丸となり、2050年までに二酸化炭素の実質排出量をゼロにする「三種町2050年カーボンニュートラル」の実現に取り組むことを宣言します。

2023年3月17日

三種町長 田川政幸